



—としておくと便利です—

あなたと市政をむすぶ☆☆☆☆

広報 **なんこく** 5/15 1980 No.312
編集・発行／南国市広報委員会

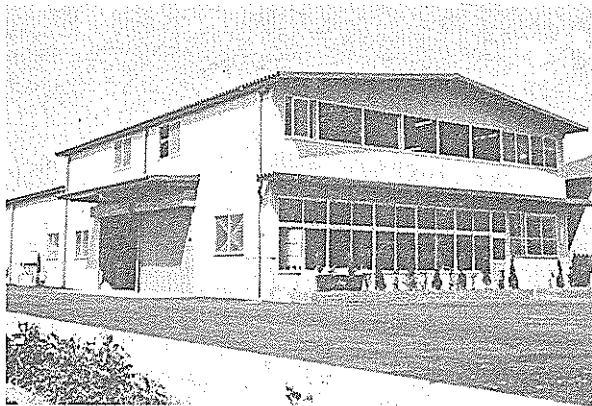
●今月の写真……………中央公民館の「ヨガ教室」から

集出荷場と加工所

堆肥センター(市協) 相次いで落成

『地域に根ざした農協運営』をめざす両農協で、このほど立派な施設が完成、五月一日には岩村農協で、五月二日には南国市農協でそれぞれ落成が行われました。

岩村農協では、多くの品目が生産、出荷されていることから手ぜまとなったことや冷庫の必要性から国の補助事業で事業費四千万をかけ、『集出荷場』(鉄骨一部二階建て六百平方尺、予冷庫、作業

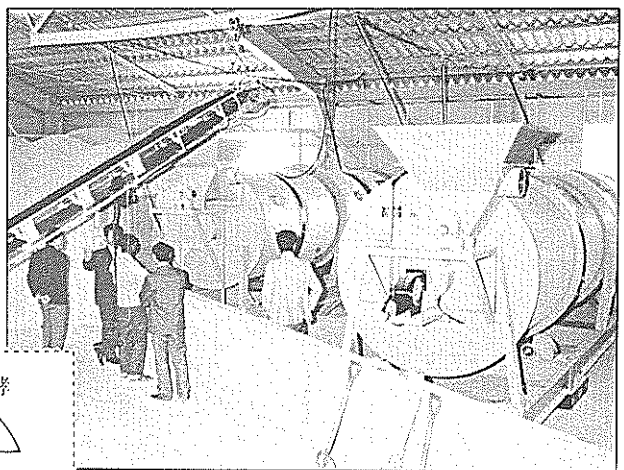


完成した岩村農協「集出荷場」



場、事務室、食堂、自動包装機を装備の建築と、特に婦人の活躍を期待し、ミン、しょう油、そばの製造をするために、事業費五百万円で『農産物簡易加工所』(鉄骨平家建て七十二平方尺、回転釜、流し、ガス台、談話室を装備)を建築したもので、農家の営農に役買うことが期待されています。

一方、南国市農協では、県農業公社が主体となり、畜産経営環境整備事業で乳牛の糞尿公害を防止、土づくりに一役買おうと堆肥センターを建築しました。対象は、十九戸の日章、前浜地区の酪農家。約四百頭の牛の糞(一日約九ト)を持ち込み、それをオガクズ(高知市内木材業者の無償提供)と混ぜ、攪拌、約四十八時間一度発酵をさせ、さらにそれを堆積して二十日に一回の割合で切り返し、九十日一度二次発酵をさせ、完熟堆肥ができるとのこと。

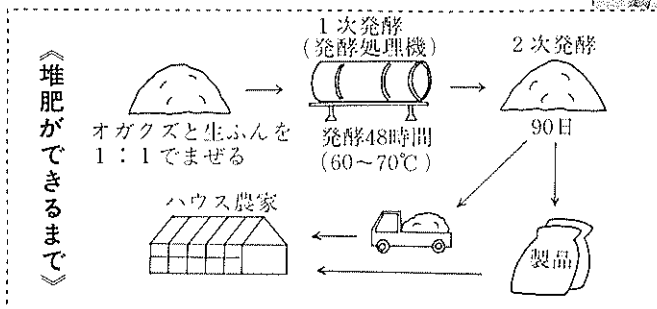


完成した南国市農協「堆肥センター」

この堆肥は、ハウス農家などへバラもしくは袋詰で供給するそうで、すでに七十トほどの予約があり、早くも二名の職員は大忙がしの状態。

場所は高知大学農学部西側で、約三十畝の土地に堆肥舎二千四百平方尺、管理棟百平方尺と大規模なもの。内部施設は、発酵処理機二台、タイヤシヨベル二台、ダンプなど四台が完備。

ハウス農家の需要期のピークは、八月下旬から約一カ月間、センターでは日産十トの出荷を目標に今着々と堆肥づくりが進められています。



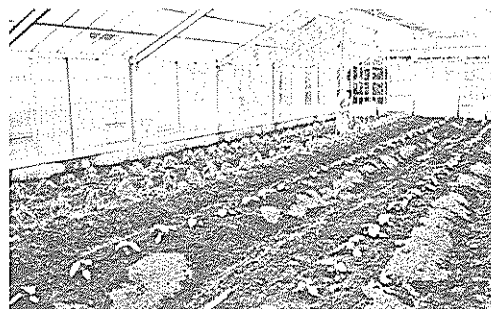
三島に野菜種苗センター

ガラス温室が完成

きびしさが加わる県内野菜業界の振興のために、高知県、県園芸連、県信連、県内農協の出資で社団法人、高知県種苗センターが三月六日設立され、野菜の優良種苗の保存、改良、普及をはかろうと、約五百平方メートルの「ガラス温室」が完成しました。県内では、これまで園芸試験場でこのような作業が進められてきましたが、本県独自のものをつくる必要性も生

じたことから設立になったものです。

この温室は、第二次構造改善事業が完成したばかりの、三島部落内で、広さは約五百平方メートル、当面、シシトウ、ピーマン、トマト、ナスの四品目、六品種を扱う予定で、この広さでは十二品種が可能だということです。「種苗センター」の効率運営が期待されます。



市民のみなさんへ

『広報意見箱』を設置



昭和三十四年十月、市政施行以来二十二年が過ぎ、本市もいよいよ少年期から成・壮年期の時期を迎えました。空港、高速道路、都市計画など大きな計画がひしめいて、それを裏づけています。大きく変わろうとする時にこそ、市民、議会、市当局が調和をとりあって問題を解決しなければなりません。より多くの市民のみなさんのご意見をいただきたい、市政の参考にしていこうと考へ、「広報意見箱」を五月より、本庁市民ホール、各支所に設置しました。

ご意見を出される方は、住所、

今月の納税

固定資産税 (1期)

納期限は
5月31日です

氏名、年齢、職業、電話番号を書いてください。(匿名でもけっこうです。)

行政への意見、地区の楽しい出来事、随想などなんでもけっこうです。

市民のみなさんの幅広い、建設的なご意見をお待ちしています。

【広報広聴係】



●ゴミは必ずきめられた場所へ…市民の顔・川をきれいに。

あなたの顔を差しあげます

広報紙にのったあなたの写真を差しあげます。ご希望の方は企画財政課広報広聴係へ、ハガキ、電話(3-2111)でどうぞ。



同和問題を考えることに

明治から昭和の初めにかけては、特に部落差別のきびしい時代でした。その時代に生まれ育った同和地区の人たちのなかには、勉強したくても経済的あるいは家庭の事情などに加え、いられない部落差別によって小学校へ満足に通学することができず、ただ在籍し、なかには座る机もないまま「トコロテン式」

わたしの思い出たち

山川照井

わたしは、今年七十九歳になります。今から、さかのぼって数えてみると、わたしはちよつど一九〇〇年に生まれたことになりました。ふりかえってみると、ずいぶん長生きをしたものだと思えます。その間には、今思い出しても、なみだがあふれてくるような楽しいことや、つらいこともありました。その反対に、おさない小学生の時に受けた、友だちのやさしい心を、いつまでも忘れられなくて、七十年のむかしに別れたその方に、一目会ってお礼を言いたい、そんなつかい思い出もあります。わたしの家は、貧しかった。父も母も家の者みんなが、朝早くか

身体障害者慰安 地曳網会に参加して

四月二十九日の天皇誕生日、快晴南風の好天に恵まれて、市招待の集いは本当に楽しく有難いものでした。

漁師さんは、波を見よって巧みに舟を潮に乗せる。舟はたちまち白波をけ立てて沖合はるかにつき進む。櫂(こ)を押す労苦は昔話になった。タバコを一服して見守るうちに、はや舟は網をおいて帰ってくる。

私たちがテントの下で方々のお話を聞いているうちに、間もなく



森国敬治(里改田)

荒手が上り出す。皆一勢に波打ちぎわに出て思い思いに手をかける。袋のまわりは黒山の人だかり、今は「コイラ」もしゆんである。それを香にいたたく一ぱいは身にしみわたる。太陽は輝き沙風はそよぐ、寄せては返す黒潮は太古のままのものです。

しかし、我々如き身障者を慰さめ、はげましてくれる今日の福祉国家、福祉行政は、またなんとゆう進歩した思想文化の有難い世の中でありましょう。つくづく人智の向上、歴史の進展に感激します。当局ならびに有志の方々のご尽力に感謝すると同時に、身体の不自由は精神でカバー出来る豊かな心を心がけて、明るく元気に生きぬかねばと誓いました。

おみやげの「イリコ」は帰って早速屋根に干し、夕方には近所へもくばりました。人間は社会的動物であります。しこうして、共存共立、折角の市の催しを理解して、次回は一層多数の皆々が参加して、更に盛大な会合とし、集いの意義を味わいましょう。

川さんの生きざまをまとめたものが「わたしの思い出たち」です。

この手記は、その後長岡小学校で、同和問題の生きた教材として利用されているものです。同和問題を考えるうえにも、ぜひ市民の方々に一読願ひ、部落問題を正しく理解していただきたいと思ひます。

【社会教育課】

ら夜おそくまで、いっしょうけんめい働いていました。でも、わたしたちのくらしは、ちつとも楽になりませんでした。わたしも子どもなりに、両親の手伝いや、子もりなどもしました。だから学校も休みませんでした。休みたくて休んだのはありません。家が貧しいのと、弟や妹の子もりをしてはならなかったのです。そんな時は、どれほど学校へ行つて、みんなといっしょに遊んだり勉強したりしたかったです。

わたしは、一日、弟をつれて学校へ行きました。弟は、喜んで、教室中を走り回り、みんなから、勉強のじやまだとときらわれ、いやがられました。もちろん、わたしのせつかつく計画は、だめに、それからは、一度も弟をつれて学校へは行かず、ずっと学校を休ん

のです。ところが、部落の子が、先にお茶をくんだタゴからは、部落出身でない子ども達は決してくみません。そうして、部落でない子どもがお茶をくんでいるタゴの方は、長い列ができていたことを、今でもはっきりおぼえています。

また、こんなこともありました。そのころは、机もこしかけも一人がけでした。その机やこしかけの中ほどに線を引かれ、少しでも手や本が境をこえると、だまって押しつけられたり、いじわるを言われたりしました。あの小さい机やこしかけのことですから、これらのことは、毎日のことでした。今になって考えると、これらの苦しみを受けたのはわたしだけでなく、部落の子どもたちみんなそうだったと思います。

それに、よめいりして、初めて買つてもらった時計の針の見方がわからなくて、困ったこと。字が読めなくて、ひとりで大坂へ行けず、だれかに連れて行ってもらふよりほかに、ほんとうに悲しい思いをしたこと、次から次へと字を知らなくて困ったことやつらかったことが、思い出されます。

でも、今では、市役所のいろいろな係の名を書いたふだり読めだし、人に問わなくてすむようになり、バスや電車の行き先が読め、大阪へもひとりで行けます。日記をつけ、孫に本を読んでやるように、息子に手紙が書けるようになった。ほんとうに、町の灯が明るく、夕日が美しく見える。字を知ることが、こんなにすばらしいものとは思いませんでした。

月曜日と金曜日、週たった二回の識字学級が、なんと待ちどおしいことでしょう。文字をおぼえること、本が読め、日記が書けることが、なんとすばらしいことでしょう。七十九歳のわたしですが、ほんとうに生きていてよかったと思ひます。

七十歳のあいだ、わたしを暗い、冷たいきりの中にとじこめていたものはなんでしょうか。たった一回きりの一生から、すばらしい生きがいやうぼつたものはなんでしょうか。わたしは、識字学級へ通いながら、わたしのなままといっしよに、今それを知りました。不可侵(一人を侵してはならない)不可被侵(また、侵されてもならない)これは、部落解放の父、松本治一郎先生の言葉です。

南国意外史(5)

庁舎「新館」、落成直後に雨もり

南国市が誕生して間もなくのこと——現在の市立図書館の建物、かつては南国市役所の「新館」であった。それというのは、当時の庁舎が「土佐長岡郡地方事務所」の木造平屋あわせて四棟ほどの古びきつたもので、当時市内ではこんなものは

見ることができない「古代建造物」であったため、新館は実にスマートであった。

新館建築は請負業者が決まりにくかったが、結局、大阪府下のDハウス工業に決定。建物形式は、「鋼管構造」という、それまで聞いたことがないもの。普通、洋風

建築に登場する鉄骨(筋)を使わず、鋼のパイプを骨格にする軽量なもので、実際はご覧のとおり。あれは九月であったか。落成式後七日目ごろ、二階が議場であったから市議会が関連の会議であったと思う。その会議の最中に猛烈な雨が降った。これがたまるか……といった人も。

そのうちに天井の東のやや北寄りからポトリと雨。やがて落ちる場所と回数と量がふえ、床にはと

第七回南国市民囲碁大会

五月四日、五日の両日、「第七回市民囲碁大会」が後免東町の南国囲碁クラブで開かれ、約百名の参加者が三クラスに分かれて熱戦を展開しました。

なかでも、二日目の有段者の部には四十数名が参加。各棋士の棋力の向上が目まじく、各局ごとに激戦が続き、時間の都合上、秒読み」となる対局も数多くみられました。

結果は次のとおり。

- A級(有段者)
 - ①小野殊仙(後免町) ②三好武光(ミロク) ③土居栄城(稲吉)
 - ④浜田開造(野市町) ⑤桶瀬幸生(野市町) ⑥岡秀雄(稲吉)

- B級(一、二級)
 - ①吉岡秀文(長岡) ②岩村重寿(岩村) ③山崎正男(久礼田) ④中屋誠(後免町) ⑤米貫晃(大地) ⑥山崎峻英(長岡)

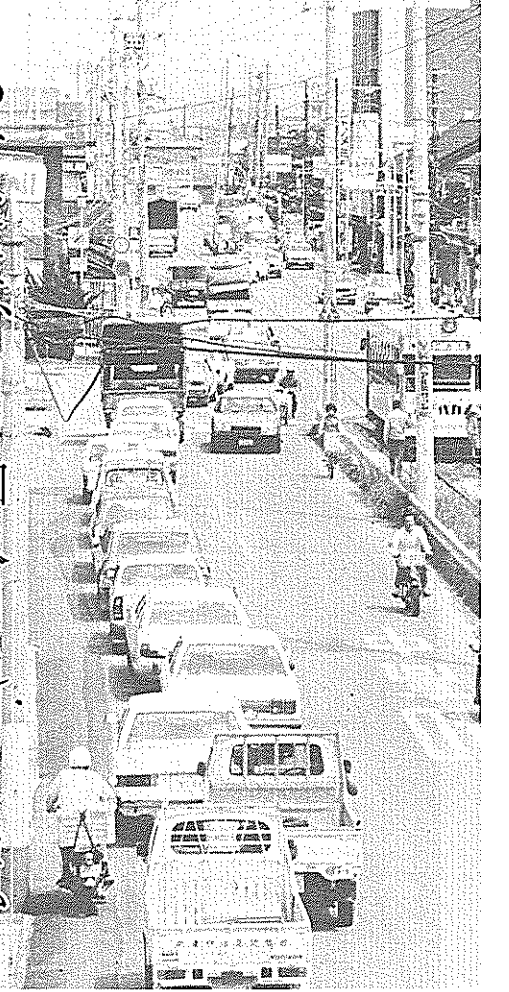
- C級(五級以下)
 - ①南場計治清(土佐山田町) ②竹内裕雄(土佐山田町) ③竹島真彦(前浜) ④松本宣隆(大地)



昭和36年8月、新館落成

あなたはもう加入されましたか

交通事故の救済は市民みんなの手で... 市民交通傷害保険の加入受付が、五月一日からはじまっています...



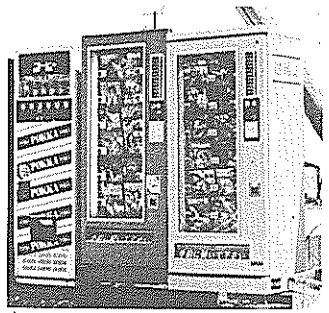
今まで加入されていた保険は五月末日で期限切れとなりますので、これまで加入していた人も、忘れずに加入申込みをしてください。

国民年金 特例納付は 六月末で締切り!! 加入もれや、加入はしていても保険料を納め忘れたため、なんの年金も受けられなくなっている人...



タバコは市内で買いました

タバコが四月二十二日から値上げされましたが、全国で三千五百万人ともいわれる愛煙家たちの数はあまり減らないようです...



締め出そう不良雑誌の販売機

最近、市内のあちこちに青少年に有害な不良雑誌の自動販売機が目だちはじめています...

のけてもらえない状態です。今、青少年の非行が低年齢化し、時には新聞紙上を騒がせるなど、大きな社会問題となっています...

心身障害者扶養共済制度

四月から一部改正

心身障害者の生活安定と福祉の増進を図るために設けられている「心身障害者扶養共済制度」が、四月一日から改正されました。

福祉医療費助成

二級の方も対象に

福祉事務所社会係で受付けています。(申込み用紙は社会係にあります。) 保険料は加入者の年齢により異なりますので、くわしいことは担当までおたずねください。

母子家庭医療費

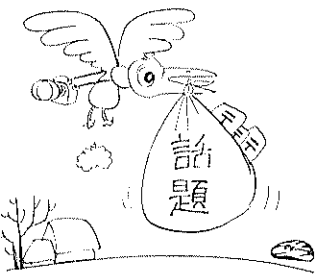
通院費も全額助成

母子家庭医療費の助成は、これまで入院費のみ対象となっていました。四月一日より通院費についても対象となりました。

各地区の話題を紙面に

広報通信員を募集します

「広報なんこく」では、紙面を市民のものにするため、各地区の催し物やトピックスをお知らせいただく「通信員」を募集します。



ハガキでその都度お知らせいただきます。お礼は年間一三三〇円(予定)

領収書や契約書と印紙税

私たちは毎日の生活のなかでいろいろな文書を作ったり、もらったりします。文書のなかには、不動産売買契約書や借付証書、領収書などがあります。



【南国税務署】

| 日 | 衛生行事 |
|-------|---|
| 21(水) | 健康相談・1:00~2:00 南部福祉館 生ワク投与(個人通知者のみ)・1:30~2:00 日章地区公民館 不燃物の収集・後免(西町、栄町) 金属類の収集・十市、三和、前浜、下島、久枝、立田、田村 |
| 22(木) | 健康相談・1:00~4:00 岡豊保健婦室 生ワク投与(個人通知者のみ)・ 1:30~2:00 三和地区公民館 2:00~2:30 蔦ヶ池中学校 不燃物の収集(植田、久礼田) |
| 23(金) | レントゲン・老人検診・ 9:30~11:30、1:00~2:00 稲生小学校講堂 生ワク投与(個人通知者のみ)・ 1:30~2:00 岡豊地区公民館 1:30~2:30 大篠地区公民館 不燃物の収集(植野、領石) |
| 24(土) | 不燃物の収集(瓶岩、上倉) |
| 25(日) | 休日在宅医・東川整形外科(大埴)③-3261 |
| 26(月) | 不燃物の収集(国府、岩村) |
| 27(火) | 乳児検診・1:30~2:00 中央福祉館 (生後2ヵ月~1年2ヵ月) 不燃物の収集(笠ノ川、八幡、小蓮、定林寺、滝本、蒲原) |
| 28(水) | 乳児検診・1:30~2:00 日章保健婦室(生後2ヵ月~1年) 不燃物の収集(中島、常通寺島、江村、小笠、三軒家) 金属類の収集・物部、稲生、天篠 |
| 29(木) | 乳児検診・1:30~2:00 長岡東部公民館 (生後2ヵ月~1年2ヵ月) 不燃物の収集(十市北部) |
| 30(金) | レントゲン・老人検診・ 9:30~11:30、1:00~2:00 十市小学校講堂 乳児相談・1:30~3:30 植野公民館 |
| 31(土) | |
| 1(日) | 休日在宅医・吉川診療所(稲生)⑤-3555 |
| 2(月) | 乳幼児相談、歯科相談・1:00~4:00 市役所3階保健婦室、医務室(大篠、後免、野田地区) 乳児相談・10:00~3:00 十市支所 不燃物の収集(十市南部) |
| 3(火) | 不燃物の収集(里改田、片山) |
| 4(水) | 不燃物の収集(浜改田) 金属類の収集・野田、後免、長岡 |
| 5(木) | 不燃物の収集(前浜、下島、久枝) |
| 6(金) | 乳児相談・10:00~3:00 稲生地区公民館 不燃物の収集(立田) |
| 7(土) | 不燃物の収集(田村) |
| 8(日) | 休日在宅医・前田診療所(稲生)⑤-8209 |
| 9(月) | 不燃物の収集(物部) |
| 10(火) | 不燃物の収集(稲生) |

市の統計

4月

…55.4.30現在…

| | |
|----------|------------------------|
| 《面積》 | 124.98 km ² |
| 《人の動き》 | 前月比 |
| 人口 | 45,460人(451増) |
| うち男 | 22,179人 |
| 女 | 23,281人 |
| 世帯 | 14,360世帯 |
| 出生 | 44人 |
| 死亡 | 38人 |
| 転入 | 772人 |
| 転出 | 327人 |
| 《交通事故》 | 昨年4月 |
| 発生件数 | 47件(28件) |
| 死者 | 1人(1人) |
| 傷者 | 56人(35人) |
| 《火災》 | 昨年4月 |
| 発生件数 | 1件(2件) |
| うち建物 | 1件 |
| 林野 | 0件 |
| 被害額 | 92万円(1万円) |
| 《救急》 | 昨年4月 |
| 出動回数 | 82回(83回) |
| うち急病 | 33回 |
| 交通事故 | 17回 |
| 一般事故 | 16回 |
| その他 | 16回 |
| 《建築確認申請》 | 39件 |
| 《開発許可申請》 | 18件 |

南国市役所…… ☎783南国市大埴甲2301 ☎3-2111(代)
領石支所 ☎2-0020 岡豊支所 ☎4-2423 三和支所 ☎5-8332 十市支所 ☎5-8401
水道局 ☎3-1234 市民体育館 ☎4-3498